

第11回 文化・産業のまち部会 会議録

1 開催日 平成29年4月18日(火)

2 場所 新見市役所 第5委員会室

3 出席状況 出席8名

部会長	森田 寿	出席	副会長	水地 秀壽	出席
委員	森岡 繁信	出席	委員	今田 一成	出席
委員	三上 雄二	出席	委員	多賀 紀征	出席
委員	逸見 孝明	出席	委員	田原 裕之	出席

4 事務局出席者

総務部協働推進課 2名

5 傍聴者

なし

6 議事内容

1 開会

2 あいさつ

○部会長挨拶

3 協議

○担当分野

①学校教育 ②生涯学習・スポーツ

③地域文化、文化財などの保全、伝承 ④多様な交流

⑤人権の尊重・男女共同参画 ⑥農業、水産業 ⑦林業 ⑧畜産

⑨工業 ⑩商業 ⑪観光 ⑫雇用の創出

○部会での研究テーマについて、意見交換を行った。

・建設業界も、農業分野への参入など、副業を考えてくれという話がある。本業で農業をやっても難しいのにどうなのか？

・31年度からバイオマス発電も始まるし、植林地も伐期に来ている。林業界にとってはチャンスである。

- ・ 前は「はばたく産業のまち」について協議したので、今回は「ゆたかな文化のまち」がテーマになると思っている。
- ・ 郷土愛がテーマになっている。これを育てていくことが大事。大学生のホームステイの受け皿として空き家を活用することも大事。
- ・ 4月の人口の転出入の状況を見てみたい。学童保育や交流人口の増加が大事だ。
- ・ 高梁の松山城や図書館に行ったが、非常に多くの人がいた。おしゃれである。新見に残るにしても、新見ではおもしろくない、働く場所がないという状況である。
- ・ 打つ手無しだが、農林業の振興が一番ではないか。新砥地区の話になるが、保育所建設の際、地元住民が一体となって盛り上げようとして、徐々に入園者が増加傾向にある。婚活イベントも大事で数が多い方が良い。家庭教育も大事である。
- ・ 地域おこし協力隊や移住者など、外から来る人には非常に手厚い世の中である。本来は、昔から住んでいる人を大事にする施策が必要ではないか。視点を変えていかないと、ふるさとを愛する人が育たない。
- ・ 新見に人を残そうとするのは良いこと。一番良いのは外を見て、帰ってくるのが理想。ずっと新見にいる人は何も変えられない。
- ・ 農林業と学校教育をテーマにしようと思う。